

⑨ 日本国特許庁 (JP)

⑩ 実用新案出願公開

⑫ 公開実用新案公報 (U)

昭56-51460

⑪ Int. Cl.<sup>8</sup>  
H 02 K 5/22  
// H 02 K 3/50

識別記号 庁内整理番号  
7052-5H  
6728-5H

⑬ 公開 昭和56年(1981)5月7日

審査請求 未請求

(全 2 頁)

⑭ 小型モータ

号マブチモーター株式会社内

⑮ 実 願 昭54-133009

⑯ 出 願 人 マブチモーター株式会社

⑰ 出 願 昭54(1979)9月26日

東京都葛飾区立石3丁目14番11号

⑱ 考 案 者 馬淵隆一

⑲ 代 理 人 弁理士 森田寛 外2名

東京都葛飾区立石3丁目14番11

⑳ 実用新案登録請求の範囲

モータ・ケースにモータ端子取出用の貫通孔をもうけ、該貫通孔からモータ端子を外部に取出すように構成された小型モータにおいて、上記貫通孔の開口部がもうけられている上記モータ・ケースの端面に上記貫通孔の長手方向に直角かつ該貫通孔が内在し上記モータ・ケースの側面に達する第1の溝と上記モータ・ケースの側面に上記第1の溝から延長された第2の溝とがもうけられていることを特徴とする小型モータ。

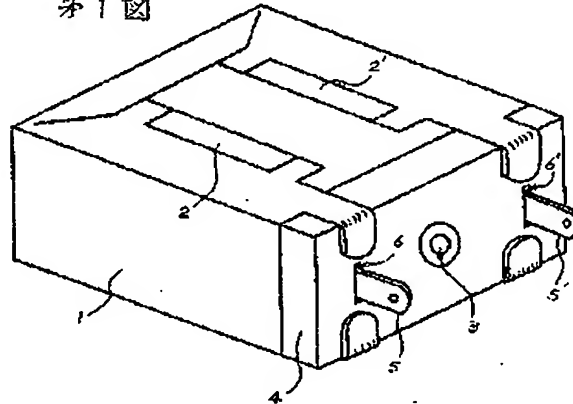
図面の簡単な説明

第1図は従来の直方体状の小型モータにおけるモータ端子を説明するための斜視図、第2図は本

考案の小型モータの1実施例におけるモータ端子周辺部を示す斜視図、第3図ないし第5図は夫々第2図図示実施例におけるモータ端子の接続に関する実施態様を示す図、第6図は本考案の小型モータの他の1実施例におけるモータ端子周辺部の斜視図を夫々示している。

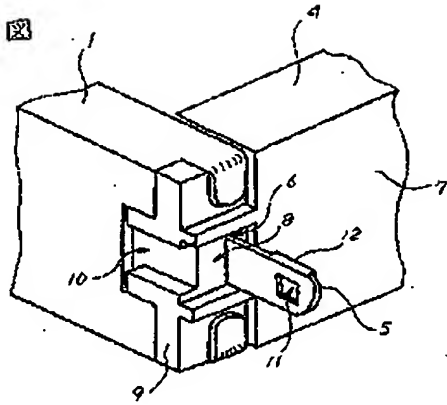
図中、1は大ケース、4は小ケース、5はモータ端子、6は貫通孔、7は小ケース端面、8は第1の溝、9は小ケース側面、10は第2の溝、11は端子孔、12はリブ、13は接触子、14は第1の突起部、15および15'は第2の突起部を夫々表わしている。

第1図

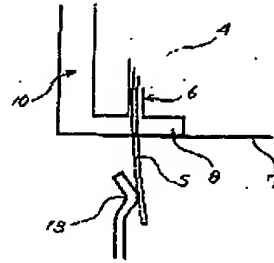


実開 昭56-51460(2)

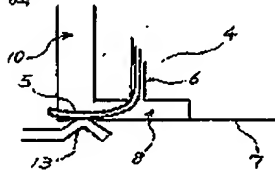
第2図



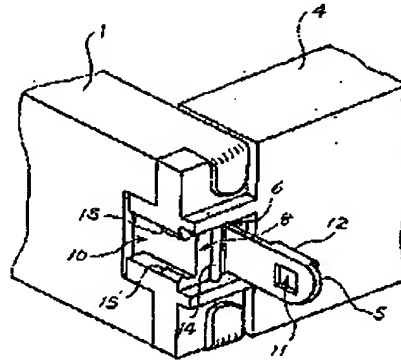
第3図



第4図



第6図



第5図

